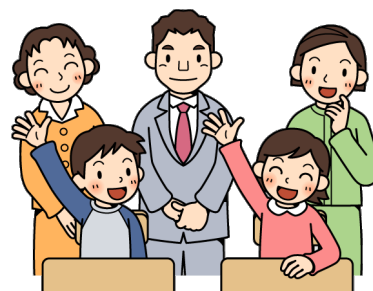


【1】 担任自己紹介 1組 ゆあさ 油浅 じゅうり 重里 2組 きのした 木下 ゆうすけ 優輔

【2】 保護者自己紹介

【3】 PTA理事の紹介



【4】 懇談内容

校訓「大地をふまえ 手をたずさえて 雄々しく立とう 鳥小の子」

6年の教育目標と教育方針

6年生の教育目標

- ◎ 命を大切にし、たくましく生きる子
- ◎ よく考え、表現できる子
- ◎ 責任をもって、やり通す子
- ◎ やさしく、思いやりのある子

◎ 命を大切にし、たくましく生きる子

人間にとって一番大切なものは自分の命であり、みんなの命です。命というものが実感しにくく、いろいろな犯罪が増加している現代社会で、あらゆる機会を通して命の大切さを教えていくことが重要な課題と考えます。

本学年の児童は思いやりのある子が多く、男女の仲もとてもよいです。しかし、そんな子どもたちでも、必ずしも命の大切さを理解しているとは言えず、友だち同士の会話の中でつい人を傷つけてしまう言動がまだ見られます。

またもう一方で、学校生活のいろいろな場面を生かして様々なことに挑戦し、たくましく自分を切り開いていってほしいです。今後の成長過程で、自分への自信のなさや、目先の損得や都合により、ずるいことをしたり、ごまかしたりすることがあると思います。しかし、いろいろな場面、困難な時にも、自分の心に誠実に正直に向かい合い、強く明るく生きる子であってほしいです。そのためには、決して失敗や過ちを責めるのではなく、共に考え、「正直に向かい、考え、行動する姿勢」を教え育てていくことが大切であると考えます。そうして子どもが自分に誇りをもって生きること、自他の命を大切にできる子にもなっていくと思います。

◎ よく考え、表現できる子

子どもたちは様々な個性をもっていますが、そのなかに周りの状況や一歩先のことをよく考えないで行動する子や、反対に考えすぎてしまって行動できない子がいます。よりよい行動ができるように、いろいろな機会をとらえ、今何が大切か、何のためにするかをよく考えさせ、進んで行動できる子にしていきたいです。考えて行動する機会は多くあります。日常の生活をはじめ、最高学年としての活躍の場が広がってきています。子どもたち

の活動を支援し、評価し、よく考えることのできる子に成長していってくれるよう指導していきたいと思います。

そして、よく考えるとともに、自分を表現できる子になってほしいです。そのために、発表の機会や話し合い活動を豊かにしていきたいと考えています。

◎ 責任をもって、やり通す子

最高学年となり、通学班や委員会、クラブ活動、なかよしタイムなど、いろいろな場面でリーダーシップをとることになります。自ら立候補し、リーダーになった子も多くいます。リーダーにならなくても、清掃活動や当番活動等にこつこつと取り組み、責任を果たすことのできる子も多くいます。

一方で、楽しいことには積極的に取り組めますが、いやでもやらなければならないことになると、一歩引いてしまうこともまだいます。また、「だれかがやってくれるだろう」と他人任せの気持ちになり、進んでしようとしないうちがいの現状です。子どもとは、興味や関心をもとに活動する存在とも言えますが、それだけで生きていくことはできません。必要なことであれば自分を律し、やり通す能力と態度を育てていきたいと思います。

◎ やさしく、思いやりのある子

これまでの成長の過程で、思いやりを十分に身につけている子がいます。おそらく、保護者の方をはじめ、その子にとって思いやりについて学ぶ機会が多くあったのだらうと思います。特に子どもの頃は、周りの人に評価され、認められることによって、その価値を内面化し、人格として形成していくと考えられます。

社会生活を営んでいく上で、人を思いやることのできる姿勢・態度を欠かすことはできません。学校生活におきましては、協力し合う学年・学級生活を意識し、思いやりある行動に対して評価し、認め合う雰囲気を高めていきたいです。なかよしタイムでは、下級生を大切にし、やさしい「お兄さん」「お姉さん」と言われるよう、支援していきたいです。

教育方針・・・子どもたちへの指導・支援

1、基本的生活習慣を育成する。

- ・ 落ち着いた行動・・・廊下歩行、教室での過ごし方、休み時間
- ・ 挨拶や返事、感謝の言葉・・・おはよう、はい、ありがとう、ごめんね
- ・ 時間を守る・・・チャイムで席に着く
- ・ 整理整頓・・・身のまわり、落とし物、忘れ物
- ・ 学習のルール・・・姿勢、返事、協力

2、明るく楽しい学級を作っていく。

- ・ 一人ひとりの居場所を作る。
- ・ 一人ひとりの良さを見つけ合い、学び合う。
- ・ いじめや差別がなく、支え合っていく。
- ・ 失敗や過ちを許し合い、生かしていく。
- ・ 感謝と許しの気持ちがこもった「ありがとう」「ごめんね」が自然と言えるようにする。
- ・ 楽しみ合い、ふれあえる活動の場を充実する。

3、生きる力を育む。

- ・ 基礎学力の向上と定着に努める。
- ・ 書く能力、発表する能力を高める。
- ・ 課題設定と課題解決の方法を身につけさせていく。
- ・ いろいろなことにチャレンジさせる。
- ・ 課題（仕事）に責任をもって取り組ませる。

4、評価し、評価し合う。

- ・ 良い行いについてほめ、みんなに返していく。
- ・ ずるい行いについては、厳しく叱る。
- ・ 過ちについては、よく考えさせ、今後に生かしていく。
- ・ 教師から、朱書きなどで日常的に評価していく。
- ・ 自分を評価する機会を定期的に作っていく。
- ・ 子どもどうしが評価し合える機会や方法を作っていく。



学習面での指導

(1) 基礎基本を重視する

昔から教育で求められてきた「読み書き計算」を朝学習などの時間を使って、くり返し学習させていきたいです。補習も必要に応じてしていきます。しかし、学校の学習時間だけでは、とても習熟できません。宿題として、家庭学習で補っていきたいと思います。保護者の方の励ましや言葉かけが小学校時代の子どもたちにとって、大きく作用します。ご協力ください。

(2) 興味関心を広げる

3歳児の頃に発した「なぜ、どうして」の素朴な疑問。高学年の頃は、もう少し筋道を立てながら、広い視野に立って「なぜ、どうして」を発する年頃です。単なる知識の蓄積ではなく、興味深い学習を展開したいです。また、読書を奨励し、多くの本にふれさせたいです。

(3) 考える力を高める

国語や算数の力を伸ばしながら、思考力を生かして自然や社会に対する知識や認識、見方や考え方を豊かにしていきたいです。社会では、歴史や政治・経済の学習に取り組み始めました。社会的視野が大きく広がっていくと思います。

(4) 話を聴く姿勢を定着させる

話を聴く姿勢を定着し、挙手を活発にさせ、みんなで協力し高め合い、学習を進めていく態度を育てていきたいです。おしゃべりをしたり、ほかごとをしたりする子にはきちんと注意していきます。

【5】学級の目標

- 1組 仲良く楽しく助け合い、記憶に残る最高の1年に！
- 2組 努力は絆のもと

【6】生徒指導

- ・ あいさつ・返事がしっかりできる。
- ・ 安全に気をつけて生活することができる。
- ・ 時間を守り、身の回りの整理整頓をすることができる。

【7】学級の様子

【8】家庭での様子

学年に関わる行事

- 5月 2日（月）春の遠足（名古屋市科学館）
- 6月中 職場訪問
- 10月 1日（土）運動会
- 10月17日（月）修学旅行説明会
- 11月 4日（金）社会見学（※予定 リトルワールド）
- 11月17日（木）～18日（金） 修学旅行（京都・奈良）
- 2月 9日（木）～10（金） 学習発表会
- 3月 2日（木）卒業生を送る会
- 3月16日（木）卒業式

MEMO